

# 第3回吉田病院整備基本計画策定委員会 説明資料

---

平成30年8月22日  
新潟県病院局

## 課題

- 県央基幹病院との協力支援体制
- 病床機能・規模の再編による持続可能な病院経営（スリム化）
  - ・ 診療科目：医療資源を適切に活用し、再編を検討
  - ・ 病床数：医療提供体制、患者受療動向を踏まえ検討
  - ・ 3つの柱：特に消化器系疾患のセンター化は県央基幹病院との相互補完を検討

## 方向性

- 吉田病院の実際の運営にあたっては、県央基幹病院等の周辺医療機関の運営状況等を踏まえた医療提供体制構築を検討
- 県央基幹病院整備後に、限りある医療資源や県立病院ネットワークを有効かつ最大限に活用するため、県央地域における県が関わる病院の機能分化と連携による医療提供体制の構築に取り組む
  - (1) 相互補完体制（基本は運営状況等を踏まえ県央基幹病院に集約し、吉田病院は後方支援）
  - (2) 入院患者の融通（紹介・逆紹介の取組）
  - (3) 医師の派遣・交流（助勤体制、ライフステージ毎の勤務のあり方）
  - (4) 患者の利便性向上の検討（診療券・電子カルテの共通化、交通手段の確保）

## 主な意見

## 【医師供給側の委員（新潟大学教授）】

- 県央医療圏全体の医療提供体制を考える絶好の機会であり、アイデアを出しながら調和を図るべき
- 医師の集約化を図った連携・相互補完体制の構築が必要
- 医師のライフステージに見合った病院間の勤務ローテーション等が可能な体制・制度づくり（医師を疲弊させない、キャリアパスに応じた勤務）

## 【地元の委員（燕市医師会、燕市・弥彦村）】

- 吉田病院の現行機能の維持、特に特色ある医療（消化器系疾患診療・子どもの心の診療）の充実
- 診療圏人口が多いことを考慮した機能・体制整備
- 地元住民にメリットがある連携・補完体制の構築
- 患者が病院間を移動する交通手段がない中、相互補完に無理があるのではないか

## 【共通】

- 県央基幹病院の機能がより具体化していく中で、吉田病院の機能及び連携・補完体制を議論すべき

## 地域医療構想調整会議の協議事項

H30.2.7医政地発0207第1号厚生労働省医政局地域医療計画課長通知

## 【個別の医療機関ごとの具体的対応方針の決定への対応】

- 都道府県は、毎年度、地域医療構想調整会議において合意した具体的対応方針をとりまとめること。
  - 具体的対応方針のとりまとめには、以下の内容を含むこと。
    - ①2025年を見据えた構想区域において担うべき医療機関としての役割
    - ②2025年に持つべき医療機能ごとの病床数
- 公立病院は、「新公立病院改革プラン」を策定した上で、平成29年度中に協議すること。  
⇒協議の際、公立病院は  
構想区域の医療需要や現状の病床稼働率、民間医療機関との役割分担を踏まえ公立病院等でなければ担えない分野へ重点化されているかどうかについて確認すること。

## 経済財政運営と改革の基本方針2018

H30.6.15閣議決定

地域医療構想の実現に向けた個別の病院名や転換する病床数等の具体的対応方針について、昨年度に続いて集中的な検討を促し、2018年度中の策定を促進する。

公立・公的医療機関については、地域の医療需要を踏まえつつ、地域の民間医療機関では担うことができない高度急性期・急性期医療や不採算部門、過疎地等の医療提供等に重点化するよう医療機能を見直し、これを達成するための再編・統合の議論を進める。

# 地域医療構想（県央構想区域）

## 新潟県地域医療構想（県央構想区域）

### 【現状と課題】

県央基幹病院整備後の既存病院との役割分担と連携を進める中で、構想区域内で相当程度完結できる医療提供体制を構築する必要があります。

### 【方向性】

県央基幹病院の計画の具体化及び平成37年(2025)（若しくはそれ以降）を見据えた、各病院における病床の整備・機能転換（地域包括ケア病棟、回復期リハ病棟等施設整備等）の促進を目指します。

## 第7次地域保健医療計画（県央医療圏）

平成30年4月から病床過剰地域

＜基準病床数＞

基準病床数	既存病床数 (H29.10.1)	差引
1,392	1,929	+537(過剰)

＜病床機能区分ごとの病床数＞

県央	2025年における推計		病床機能報告(H29)
	厚労省令	新潟県	
全体	1,596	1,657	1,808
高度急性期	87	105	0
急性期	449	472	1,035
回復期	627	648	165
慢性期	433	432	608

(H29実績)

- ・外来患者数 433.8人/日 (対前年度比 ▲4.7%)
- ・入院患者数 88.5人/日 (対前年度比 ▲7.3%)
- ・病床利用率 59.4% (対前年度比 ▲4.7ポイント)

		H24	H25	H26	H27	H28	H29
稼働病床数(床)		193	193	151	149	149	149
常勤医師数(人)		24	24	23	23	21	21
外来	一日あたり外来患者数(人/日)	510.4	511.7	499.2	472.2	455.5	433.8
	延新患者数(人)	11,149	11,032	9,857	8,984	8,328	8,403
入院	一日あたり入院患者数(人/日)	138.2	123.1	107.8	110.2	95.5	88.5
	病床利用率(%) ※ 稼働ベース	65.5	63.8	62.6	73.8	64.1	59.4%
	平均在院日数(日)	15.4	14.6	14.1	15.9	15.3	15.0

(業務月報)

## (1) 診療機能

限りある医療資源や県のネットワークを有効かつ最大限に活用するための県央基幹病院と吉田病院等の具体的かつ実効ある連携・補完体制の明確化

### 県央基幹病院との連携・役割分担

- 相互補完体制(基本は県央基幹病院に集約、吉田病院は後方支援)

県央基幹病院	<ul style="list-style-type: none"> <li>・救命救急医療</li> <li>・高度・専門的医療</li> <li>・地域医療の支援</li> <li>・災害時医療の拠点機能</li> </ul>
県立吉田病院	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県央基幹病院の後方病院かつ地域密着型病院(急性期及び回復期)</li> <li>・二次救急医療</li> <li>・特色ある医療の提供(消化器系疾患診療、人工透析治療、子どもの心の診療・小児慢性疾患診療)</li> </ul>

- 入院患者の融通(紹介、逆紹介の取組)
- 医師の派遣・交流(助勤体制、ライフステージ毎の勤務のあり方)
- 患者の利便性向上の検討(診療券・電子カルテの共通化、交通手段の確保)



策定委員会での議論を踏まえ次回以降に素案化

## (2) 規模

### ① 病床数

診療機能及び将来の患者数の見込みを踏まえた規模（病床数）の検討

### ② 人工透析

県央基幹病院の施設規模等を踏まえ整備基本計画の策定段階において具体的に検討

## (3) 改築場所

「現地改築」と「燕市役所周辺への移転改築」を比較し、県が検討・調整の上、いずれかで決定

⇒ 改築場所の選定にあたっては、メリット・デメリット（費用、特別支援学校・看護学校との関係性等）を総合的に勘案した判断が必要



# 現行診療科目

病院診療科	医師配置	H29患者数（人／日）		備考（傷病分類別）
		外来	入院	
内科	常勤 8 パート 3	227.8	51.7	悪性新生物、内分泌系、消化器系疾患 腎不全、呼吸器系疾患等
消化器内科				
人工透析内科				
精神科	助 1	0.5		精神疾患
神経内科	（休止中）			神経系、認知症、脳疾患系疾患
小児科	常勤 2、臨時 1 パート 2（週 5）	49.4	13.3	小児診療一般、ぜんそく、腎機能、アレルギー疾患 小児の心身症、発達障害疾患
子どもの心の診療科				
外科	常勤 4 パート 2	25.0	14.6	悪性新生物、消化器系疾患、乳房の悪性新生物 外科一般疾患等
消化器外科				
乳腺外科				
肛門外科				
整形外科	常勤 1	29.0	3.3	筋骨格系疾患
脳神経外科	（休止中）			脳血管疾患
皮膚科	パート 1	4.9		皮膚疾患
泌尿器科	常勤 1	21.6	2.5	腎尿路生殖器系疾患
産婦人科	パート 2（分娩休止中）	4.8		産科及び婦人病の疾患
眼科	常勤 1、パート 1	38.0	2.7	眼及び付属器の疾患
耳鼻咽喉科	パート 1	9.4		耳・鼻・咽喉及び付属器の疾患
リハビリテーション科	－	－		
放射線科	常勤 1、パート 2	1.7		
歯科口腔外科	常勤 1、パート 1	21.7	0.5	歯及び口腔内疾患
麻酔科	常勤 1	－		手術時の麻酔
計	常勤 20、臨時 1	433.8	88.5	

（外来、入院患者数：業務月報）  
※入院は端数処理により合計と不一致

## 燕市・弥彦村の将来潜在患者数（外来）

○ 内科系疾患を中心として神経内科、外科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、眼科等の潜在患者が広く見込まれる

傷病分類	平成27年	平成32年	平成37年	平成42年	平成47年	平成52年	潜在患者変化率 (H52/H27×100)
総 数	3,578	3,599	3,552	3,468	3,337	3,219	90.0
I 感染症及び寄生虫症	93	89	86	82	74	74	79.6
II 新生物	176	177	171	166	163	153	86.9
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	13	13	13	12	12	11	84.6
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	236	238	235	230	219	214	90.7
V 精神及び行動の障害	139	135	130	124	118	111	79.9
VI 神経系の疾患	97	96	100	97	94	92	94.8
VII 眼及び付属器の疾患	251	258	254	251	240	234	93.2
VIII 耳及び乳様突起の疾患	53	54	51	48	46	46	86.8
IX 循環器系の疾患	721	750	763	763	751	733	101.7
X 呼吸器系の疾患	362	344	323	303	288	270	74.6
X I 消化器系の疾患	193	192	189	185	176	169	87.6
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	161	154	149	142	134	127	78.9
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	629	652	661	651	626	608	96.7
X IV 腎尿路生殖器系の疾患	124	124	122	120	115	111	89.5
X V 妊娠、分娩及び産じょく	7	7	5	5	4	4	57.1
X VI 周産期に発生した病態	5	5	4	4	4	3	60.0
X VII 先天奇形、変形及び染色体異常	4	3	3	3	2	2	50.0
X VIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	35	36	35	34	33	31	88.6
X IX 損傷、中毒及びその他外因影響	156	151	150	142	137	132	84.6
X X I 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	123	121	108	106	101	94	76.4

(平成25年新潟県保健医療需要調査)

## 燕市・弥彦村の将来潜在患者数（入院）

○ 将来潜在入院患者は平成47年まで増加し、その後は減少すると見込まれる

傷病分類	平成27年	平成32年	平成37年	平成42年	平成47年	平成52年	潜在患者変化率 (H52/H27×100)
総数	904	938	963	964	977	947	104.8
I 感染症及び寄生虫症	11	13	13	13	13	13	118.2
II 新生物	117	120	121	118	116	111	94.9
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	1	2	2	2	3	2	200.0
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	20	20	18	19	20	20	100.0
V 精神及び行動の障害	187	186	184	178	174	168	89.8
VI 神経系の疾患	94	98	104	103	104	100	106.4
VII 眼及び付属器の疾患	8	9	9	8	9	9	112.5
VIII 耳及び乳様突起の疾患	0	0	0	0	0	0	100.0
IX 循環器系の疾患	179	195	208	217	225	222	124.0
X 呼吸器系の疾患	61	64	68	70	74	72	118.0
X I 消化器系の疾患	42	44	45	47	47	45	107.1
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	8	8	8	7	8	8	100.0
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	49	51	52	52	53	51	104.1
X IV 腎尿路生殖器系の疾患	20	20	21	22	22	22	110.0
X V 妊娠、分娩及び産じょく	10	9	9	7	6	6	60.0
X VI 周産期に発生した病態	9	8	8	7	7	6	66.7
X VII 先天奇形、変形及び染色体異常	2	2	1	1	1	1	50.0
X VIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	9	9	9	9	10	9	100.0
X IX 損傷、中毒及びその他外因影響	69	73	75	76	78	77	111.6
X X I 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	8	7	8	8	7	5	62.5

(平成25年新潟県保健医療需要調査)

# 燕市・弥彦村の医療機関の配置状況

○ 県内の他地域と比べ、燕市内を中心に診療所は比較的充実している

	診療科																			
	内	循	消	呼	神内	小	外	脳外	整形	泌	皮	産婦	眼	耳鼻	放射	リハ	アレ	リウ	麻	精
吉田病院	1		1		休	1	1	休	1	1	1	分娩休	1	1	1	1			1	1

	診療所数	診療科別内訳																			
		内	循	消	呼	神内	小	外	脳外	整形	泌	皮	産婦	眼	耳鼻	放射	リハ	アレ	リウ	麻	精
燕市	56	33	5	11	6	2	8	8	0	7	1	4	3	6	3	0	5	6	1	1	4
弥彦村	2	2	1	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	58	35	6	11	6	2	10	8	0	7	1	5	3	6	3	0	5	6	1	1	4

※ペイン内科は内科に計上  
 ※脳神経内科は神経内科に計上  
 ※胃、肛門科は消化器内科に計上  
 ※気管食道科は呼吸器内科に計上  
 ※診療科別内訳は延診療科数

(吉田病院調)

# 医療機能のあり方（案）

○ 特色ある医療（消化器系疾患診療、人工透析、子どもの心の診療・小児慢性疾患診療）の維持・充実

現行		あり方（案）		【参考】 県央基幹病院 診療科予定	
病院診療科	医師配置	外来	入院		
内科	常勤8 パート3	維持・充実		○	
消化器内科				○	
人工透析内科				○（腎）	
小児科	常勤2、臨時1 パート2（週5）	維持		○	
子どもの心の診療科				—	
外科	常勤4 パート2	維持・充実		○	
消化器外科				○	
乳腺外科				—	
肛門外科				—	
精神科	助勤1	地域の医療ニーズを踏まえ 診療科の再編を検討し、 常勤または助勤により対応	—	○	
神経内科	（休止）		—	○	
整形外科	常勤1		（県央基幹病院との役割分担が必要か）	○	
脳神経外科	（休止）		—	○	
皮膚科	パート1		—	○	
泌尿器科	常勤1		（県央基幹病院との役割分担が必要か）	○	
産婦人科	パート2（分娩休止中）		—	○	
眼科	常勤1、パート1		（県央基幹病院との役割分担が必要か）	○	
耳鼻咽喉科	パート1		—	○	
リハビリテーション科	—		—	○	
放射線科	常勤1、パート2		—	○	
歯科口腔外科	常勤1、パート1		（県央基幹病院との役割分担が必要か）	○	
麻酔科	常勤1		—	○	
22診療科	常勤20、臨時1				